

令和4年度 第1回 江別市かわまちづくり協議会

日 時 : 令和4年8月25日(木) 14:00~
場 所 : 江別市民会館37号室

次 第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 委員の紹介 【資料1】
- 4 議事
 - (1) 報告事項
 - ア 前回協議会の開催結果 【資料2】
 - イ かわまちづくり勉強会の開催結果 【資料3】
 - ウ かわまちづくり計画書について 【資料4】
 - (2) 協議事項
 - エ かわまちづくりの進め方について 【資料5】
 - オ 対岸側河川空間の活用について 【資料6】
- 5 その他
- 6 閉会

かわまちづくり協議会委員名簿

(令和4年8月25現在)

	区 分	氏 名	推薦団体及び役職等
1	学識経験者	小篠 隆生	北海道大学大学院工学研究院 准教授
2	関係団体等	内田 悟	江別市街地自治会連合協議会 副会長
3	関係団体等	柏村 章夫	一般社団法人えべつ観光協会 副会長
4	関係団体等	鴻野 徹	江別商工会議所 事務局長
5	関係団体等	若狭 洸介	一般社団法人江別青年会議所 委員
6	関係団体等	林 匡宏	(まちづくり民間団体) NPO法人 江別における持続可能な コモンズのためのしくみ 代表
7	公募による者	境 珠美	市民公募
8	公募による者	藤原 英大	市民公募

令和3年度 第4回江別市かわまちづくり協議会 会議録（要点筆記）

日 時：令和4年3月29日（火） 10:00～12:00

場 所：江別市民会館37号室

出席委員：小篠隆生会長、内田悟委員、町村均委員、境珠美委員、藤原英大委員
（計5名）

欠席委員：鴻野徹副会長、高橋利光委員、林匡宏委員

事務局：経済部長、経済部次長、商工労働課長、観光振興課長、総務部契約管財課長、
教育部郷土資料館長、建設部管理課参事、建設部管理課主幹、治水課長、治水
課主幹、江別河川事務所（3名）、商工労働課主査（2名）

傍聴者：1名

会議概要

1. 開会
2. 議事

(1) 前回協議会の振り返り（説明：事務局 川島商工労働課長）**(2) かわまちづくり勉強会開催報告（説明：事務局 川島商工労働課長）**

- ・ 小篠会長：1年半の間に8回勉強会をやってきて、最初は川のアクティビティ等を議論する場として思われていたかもしれないが、条丁目全体の広域な視点からまちづくりの考え方や課題をみんなで考えていくという意識に変わってきたと思う。普段全く情報が聞けない、情報が伝わってこない人たちが勉強会に参加することによっていろいろな生の情報が聞けるようになり、いろいろなことを考えている人の顔が見えてきた。1年半前の状況と今では、地元の人たちも違ってきているのではないかと思う。

(3) かわまちづくり計画書（素案）に対するパブリックコメントの実施結果について

（説明：事務局 川島商工労働課長）

- ・ 藤原委員：旧岡田邸母屋の調査報告書を見られるのはいつか。
- ・ 川島商工労働課長：委員の皆様へ調査報告書を送付した上で、今後の協議会の中で議論を進めていただくことで考えている。
- ・ 藤原委員：パブリックコメントについては、意見を言いたい人、かわまちづくりに関してモヤモヤしていたり不満を抱いている人がいるのだと感じた。説明のあった回答内容で納得してもらえないかもしれないが、パブリックコメントでいろいろな意見を把握し、それに対して関わっている人全員でひとつひとつ納得し解決していくのが非常に大事だと思う。
- ・ 内田委員：先に、旧岡田倉庫活用民間運営協議会が外輪船の管理運営をどうしていくのかをきちんと解決して進めないと、かわまちづくり協議会で管理運

営体制の議論ができないと思う。両協議会で十分議論し、これからの体制をどうしていくのかを決定した方がよい。

- ・ 川島商工労働課長：旧岡田倉庫活用民間運営協議会とはこれまでもやり取りをしており、もう少し詳しい情報を提供した上で、今後のことを考えていただくように話を進めているところである。本協議会で管理運営体制を議論していく上でも、旧岡田倉庫活用民間運営協議会の方針整理は非常に重要な点であると考えているので、今後、両協議会のやりとりを密にし、本協議会の動きをご理解いただけるようにしていく。
- ・ 小篠会長：旧岡田倉庫の運営活用を考えていく上で、旧岡田倉庫活用民間運営協議会の協力が必須であると考えている。両協議会で議論していかないと内田委員が懸念している問題は解決されないと思うので、まずは、両協議会会長の会談を実現させたい。
- ・ 小篠会長：パブリックコメントへの回答は公開されるのか。
- ・ 川島商工労働課長：議会報告も含め全体を公表するとともに、意見を提示した方については個別に回答を行う予定である。
- ・ 小篠会長：説明資料では淡白な表現になっているので、議会等から質問があった場合は丁寧な回答をお願いしたい。

(4) かわまちづくり計画書（最終案）について（説明：事務局 川島商工労働課長）

- ・ 小篠会長：最終案で江別市長の内諾を受けるとのことで、もし本協議会で修正がなければ、かわまちづくり計画を申請するプロセスに入ることになる。
- ・ 川島商工労働課長：本日、最終案を固めていただいた後、かわまちづくり協議会から市長にご報告いただき、それを受けて江別市として正式にかわまちづくり計画書として決定し、国土交通省に登録申請をさせていただく流れになる。
- ・ 藤原委員：かわまちづくり計画書に掲載されている平面図にコミュニティセンターの記載がないのは、何か理由があるのか。コミュニティセンターは施設規模が大きく図書館も併設されていて利用者が多いので、条丁目地区の重要拠点のひとつだと思う。また、ドラマシアターどもも文化財であり一般に貸出している劇場なので、いろいろな人が集まる場所になっている。
- ・ 川島商工労働課長：意図があって記載しなかったということではなく、これまでの議論からかわまちづくりの方向性、ハード・ソフト施策をまとめていく過程で関連する施設を整理した。今後、具体的な施策を考えていく中で加わっていくことになると思う。
- ・ 小篠会長：歴史的建造物はどこまでが入るのかという観点でいえば、ドラマシアターどもは入ると思う。他にも江別市指定の歴史的建造物があれば、記載しておくべきなのかもしれない。コミュニティセンターはこれからもコミュニ

ティの拠点として利用されていくと思うが、かわまちづくりの提案事業に位置付けされていないので、公共施設として記載すべきだと思う。勉強会が定着しコミュニティセンターで月 1 回開催されて、地域の人たちの情報共有のような形で動いていくようになれば、コミュニティセンターがかわまちづくりの拠点になるという見方もできると思うが、そこまでの議論はしていない状況である。

- ・ 川島商工労働課長：会長と事務局にご一任いただき、修正対応を行う。
- ・ 内田委員：千歳川にチョウザメが生息している話を聞いた。江別の歴史や文化を子どもたちに伝えていくという視点では、歴史的建造物だけでなく生物も重要だと思う。かわまちづくり計画書とは直接関係ないが、例えばチョウザメを寄付された場合に対応は可能なのか。
- ・ 川島商工労働課長：生物の寄付を受けた事例がないので即答できないが、歴史的建造物以外の文化を残してどう伝えていくかが重要だと認識している。市民が研究会を立ち上げて、江別市内を流れる河川の生態系を子どもたちに知ってもらう活動を行っているが、今後のかわまちづくりの議論のテーマになってくるかもしれないので、議論を経て対応していくことになると思う。
- ・ 内田委員：外輪船のエントランスに大きめの水槽を設置して飼育するのもありだと思うので、今後工事をやりながら考えていければと思う。
- ・ 大石所長：現在、江別河川事務所で魚類を飼育していないが、他の事務所では玄関でサケの稚魚をふ化させている事例もある。チョウザメの飼育は難しいと思うが、江別河川事務所の玄関や防災ステーションを活用する形で魚類の飼育が考えられるかもしれない。外輪船での飼育については、江別市と協議する必要がある。
- ・ 小篠会長：千歳川の自然環境、書籍、お祭り等もまちづくりの重要な要素として位置付けられるかどうかは、今後の協議会、勉強会での議論に関わってくると思う。対岸との関係が密になってくるので、良い視点をいただいたと思う。
- ・ 藤原委員：生物多様性という意味で、生物だけでなく樹木も重要だと思う。桜並木にする案もあるが、歴史的観点から本来繁茂していた樹木を植樹するのも大事だと思う。
- ・ 小篠会長：そういったことが、かわまちづくりの管理運営プログラムになっていくとよいと思う。今までは見えやすいものばかり議論してきたが、社会教育・生涯学習あるいは環境教育といった形でやっていく必要があるし、取り上げることで予算の付き方が変わってくる可能性がある。管理運営組織が定着していけば意味深いし、継続の可能性を担保することにも繋がると思う。協議会あるいは勉強会で議論していくポイントとさせていただきたい。
- ・ 小篠会長：かわまちづくり計画書の修正については、私に一任させていただき、

最終案としたい。

(5) 今後の予定について（説明：事務局 川島商工労働課長）

(6) かわまちづくり協議会について（説明：事務局 川島商工労働課長）

- ・ 小篠会長：非常に理想的なスケジュールで見ているところがあるので、来年度かわまちづくりの具体的な体制が立ち上がるかどうかは今の段階ではまだ何とも言えない。上手く立ち上げられるように努力していくことが、来年度の協議会の重要な役割になると思う。勉強会で個別の議論をしたいという人はたくさんいるが、全体的なところを見る人が必要なもので、それが協議会の役割になると思う。全体を調整する協議会の役割が今年度までよりも重要になってくるのではないかと思う。既存団体との関係を強化しないと、まちづくりをドライブさせていく人材やお金に繋がっていかない。
- ・ 小篠会長：かわまちづくり計画を登録して終わりではないので、もう一度勉強会で合意形成をしていく必要がある。来年度から工事の設計に入っていくので、設計の段階で地域の人たちが考えている想いをどこまで入れられるのかというかなり具体的な話になるので、その調整も協議会や勉強会でやっていかななくてはならない。
- ・ 藤原委員：もし、かわまちづくり計画が登録されなかった場合はどうなるのか。
- ・ 大石所長：申請までに事前に下打合せを行うことが多く、申請して登録されないというケースはあまりない。登録されない場合は、登録されなかった理由を踏まえて議論を深め、次年度に再申請することになると思う。

3. その他

- ・ 川島商工労働課長：4月18日に市長に対して協議会として計画案をご報告いただく予定である。時間と場所について別途連絡するので、ぜひご参加いただきたい。

4. 閉会

以上

江別市かわまちづくり勉強会



江別市

勉強会の実施状況

No.	開催日時	概要
第1回	日時:令和3年1月19日(火) 18:00～20:00 場所:江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・かわまちづくり協議会と勉強会について ・江別市街築堤の整備について ・かわまちづくり支援制度について ・意見交換
第2回	日時:令和3年3月23日(火) 18:00～20:00 場所:江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・前回勉強会の振り返り ・かわまちづくり先行事例の紹介 ・意見交換をしながらのドローイング ・今後の勉強会の進め方について
<p>※当初予定していた第3回勉強会の代替で、勉強会参加希望者に対する個別ヒアリングを実施。 ※上記の個別ヒアリングとは別に、若年層や女性を対象としたヒアリングを実施。</p>		
第3回	日時:令和3年9月28日(火) 18:00～21:00 場所:ZoomによるWeb開催	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会の位置づけ、今後の進め方について ・前回勉強会及び個別ヒアリングの振り返り ・意見交換をしながらのドローイング ・ハード整備の実施区分について
第4回	日時:令和3年10月18日(月) 18:00～21:00 場所:江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の進め方について ・前回勉強会の振り返り ・ハード整備内容(案)及びソフト施策内容(案) ・かわまちづくりに関するグループワーク

勉強会の実施状況

No.	開催日時	概要
第5回	日時:令和3年11月16日(火) 18:00～20:30 場所:江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の進め方について ・千歳川や旧岡田邸母屋に関する取組状況 ・ハード整備内容(案)、河川占用の概要 ・前回勉強会の振り返り ・かわまちづくりに関するグループワーク
第6回	日時:令和3年12月21日(火) 18:00～20:30 場所:江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会・支援制度への申請までの流れ ・前回勉強会の議事内容等 ・千歳川の堤防について ・かわまちづくり計画について ・かわまちづくりに関するグループワーク
第7回	日時:令和4年1月26日(水) 18:00～20:30 場所:ZoomによるWeb開催	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会・支援制度への申請までの流れ ・前回勉強会の議事内容等 ・かわまちづくり計画(素案)について ・かわまちづくりに関するグループワーク
第8回	日時:令和4年3月17日(木) 18:00～20:30 場所:ZoomによるWeb開催	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会・支援制度への申請までの流れ ・前回勉強会の議事内容等 ・パブリックコメント調査結果 ・イベント活動報告 ・かわまちづくりに関する意見交換

勉強会の実施状況

No.	開催日時	概要
第9回	<p>日時:令和4年6月30日(木)</p> <p><第1部:現地視察> 15:00～16:00</p> <p>集合:江別河川防災ステーション2F 会議室</p> <p><第2部:意見交換> 18:00～20:00</p> <p>場所:江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール</p>	<p><第1部:現地視察></p> <ul style="list-style-type: none"> ・江別河川防災ステーション等の説明 ・現地視察(石狩川・千歳川合流点付近等) <p><第2部:意見交換></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回勉強会の振り返り ・かわまちづくり計画の内容説明 ・長期及び今年度のロードマップ(案) ・かわまちづくりに関連する取組状況の報告 ・かわまちづくりに関するグループワーク

第9回勉強会の議事内容等

第9回 江別市かわまちづくり勉強会

日時：令和4年6月30日(木)18:00～20:30

【第一部：現地視察】15:00～16:00

・江別河川防災ステーション等の説明

・現地視察(石狩川・千歳川合流点付近等)

【第二部：現地視察】18:00～20:00

1. 議題

・勉強会・支援制度への申請までの流れ

・前回勉強会の議事内容等

・かわまちづくり計画の内容説明

・長期及び今年度のロードマップ(案)

・かわまちづくりに関する取組状況の報告

2. かわまちづくりに関するグループワーク

対岸側河川空間の利活用について

「どんなことができそう?」「実現させるためには?」



江別市かわまちづくり勉強会

Vol.09

NEWS LETTER

2022.7.6

第9回勉強会 報告：6/30(木)開催

旧阿田倉庫の利活用と条丁目地区のかわまちづくりに関する協議を行うために設立された「江別市かわまちづくり協議会」のワーキンググループとして勉強会を開催しました。

午後には条丁目地区対岸の江別河川防災ステーション付近の現地視察を行いました。夜からの勉強会で、江別市から前回勉強会の振り廻りや国土交通省に申請した「かわまちづくり計画書」の概要説明等を行い、その後参加者全員で条丁目地区対岸の河川空間の利活用について「どんなことができそう?」「実現させるためには?」というテーマでグループワークを行いました。

今後色々な方々と議論を重ねながら、条丁目地区を元気にしていきたいと思えます。



グループワークの発表内容



●グループワークの概要

①石狩川・千歳川合流点付近の利活用、②江別河川防災ステーション付近の河川敷の利活用、③千歳川の水辺利用・アクティビティ、④条丁目地区との連携 といった観点から活発な意見交換が行われ、「キャンプ場」「ダンス・演劇・オペラ」「シャボン玉・水遊び等の水フェスや音楽フェス」「親水公園やウォーターパークとしての整備」「防災体験・かわまちづくりスクール」「ボードウォーク」「親水公園やウォーターパークとしての整備」「防災体験・かわまちづくりスクール」「ボードウォーク」「風の強さを利用した風船イベント」「条丁目地区と対岸をつなぐ水中トンネル」「工場夜景」「試行的なイベント等」等の意見が出ました。

江別市かわまちづくり勉強会って何?

千歳川と江別市条丁目地区の歴史や文化、人々のつながりを活かしながら、条丁目地区をより明るく元氣にするための「かわまちづくり」に関する勉強や意見交換をしています。

条丁目地区の未来を一緒に考えましょう!

次回勉強会は
令和4年8月
開催予定
です!

【事務局】江別市役所商工労働課内

(電話) 011-381-1023 (Eメール) shoko2@city.ebetsu.lg.jp



江別市
Ebetsu City

第9回勉強会での主な意見

<対岸側河川空間の活用について

「どんなことができそう?」「実現させるためには?」>

- ・自分の家のすぐ近くで**非日常的な体験**ができるような新しい暮らし方を皆で体験したり提案したり、発信できる場所にしたらいいいのではないが。
- ・すごくいい場所だが、まだまだ使い勝手の悪さもあるので、まずは**地域の人たちがどんどん使えるような環境整備**をするののほうが。
- ・ある程度騒音が出て迷惑になる感じでもないので、**キャンプ**で騒いでもいいし、**音楽フェス**みたいなことをやってもいいのではないが。
- ・川は見ているだけじゃなく水に触れられるようにしたいということで、水を引き込んで**親水公園**を作ったらどうか。
- ・川を使って子ども**遠足コース**にしてもらうとか、防災ステーションで**歴史や防災**を学びつつ、**何か体験**するような繋がりもあるのではないが。
- ・草むらと思っただけだったり、川の流れがちよっと速くて過去に事故があったので、**景観や安全に配慮**する必要がある。
- ・オペラを観た子どもたちから演劇へのフィードバックがあるといった仕掛けがあると、日常と非日常がだんだん繋がってこの場所に蓄積されていくのではないが
- ・市街地側からのアクセスが良好ではなく、国道12号の交通量も多いので、**ガードレール**や国道12号から下りられるような**アクセス階段**等ができると変わるのではないか。
- ・あまり最初にお金を掛けなくて、そんなにぼろ儲けもしないけど、資金的にはちゃんと回っているというような仕組みができたらいい。

かわまちづくりに関連した取り組み①

①かわまちづくり展示会（4/30実施）



かわまちづくりに関連した取り組み②

②Mi zuber ing Ebetsu Camp (6/12実施)



かわまちづくりに関連した取り組み③

③水辺で乾杯（7/7実施）



かわまちづくりに関連した取り組み④

④かわまちフェスタ（7/30～31実施）

2022 かわまちフェスタ

べんてんまるののつてみよう

ふねにのつて ちとせ川をたんけん
クイズにちようせんして
川はかせをめざそう！

事前申込はこちらから →
申込期限7月27日

7月30日・31日

【無料・事前予約制・先着順】
対象：小学生～(身長110cm以上)

【無料・事前予約制・先着順】
対象：5歳～小3(身長110cm以上)

Eポートで川くだり

Eポートにのつて 川くだりしよう！
インストラクターさんがいるから
はじめてでも安心！

事前申込はこちらから →
申込期限7月27日

【無料・事前予約制・先着順】
対象：小学生～(身長110cm以上)

7月30日・31日

300本限定!!
1本 500円(税込)

瑞穂のしずく販売会

江別産の酒米と江別神社の御神水
で作った瑞穂のしずく。江別駅開業
140周年記念ラベルで販売します。

日時：30日10:00～16:00
31日10:00～15:00
場所：江別駅を出でずく

同時開催

真願寺で鉄道に触れよう！
幼稚園児・保育園児の鉄道塗り絵、
江別にゆかりのある鉄道模型の展示、
江別の歴史を写真と共に語り合う
※真願寺（江別市7条8丁目6）

7月30日・31日

北海道の本辺の
観光情報サイト

かわたたび
ほっかいどう

主催：北海道情報大学・藤本ゼミ
【問合せ】 fujimoto@do-johodai.ac.jp
協力：国土交通省江別河川事務所
(一財)石狩川振興財団



江別市かわまちづくり

計 画 書

令和 4 年 6 月

江別市

市町村及び河川の概要

1. 市町村等の概要	
①都道府県名	北海道
②市区町村名	江別市
③人口	119,136人(令和4年3月末現在)
④面積	187.38km ²
⑤市の特色	<p>江別市は、石狩平野の中央に位置し、一般的に平坦な地形で豊かな自然環境に恵まれ、札幌市、北広島市、岩見沢市、当別町、南幌町、新篠津村と隣接しており、道央圏で札幌市に次ぐ規模の都市となっています。</p> <p>昭和40年代より宅地造成が進んだ江別市は、5つのJR駅を中心に市街地が形成されており、交通アクセスの良さなどが評価され、札幌市への通勤・通学圏内で最も人口が増加しました。近年は、商業施設や飲食店の進出が目立ち、自然と都市機能が調和したまちとして発展を続けています。</p> <p>江別の語源は、アイヌ語の「ユベオツ」(サメのいる川)または「イブツ」(大事な場所への入口)とされ、明治11年の屯田兵の入植以降、千歳川に面した江別港と月形町を往来する外輪船により石狩川の舟運の中心として栄え、当時の隆盛を物語る外輪船(旧岡田倉庫)等の歴史的建造物が多く残っています。また、江別市はレンガの一大産地となっており、「江別のれんが」が平成16年10月に北海道遺産として認定されています。</p> <p>江別市にまたがり広大な面積を持つ野幌森林公園は、昭和43年に北海道百年を記念して道立自然公園に指定されました。公園の大部分を国有林が占め、昭和の森自然休養林や鳥獣保護区に指定されています。公園内には、総延長40kmほどの自然遊歩道、休憩施設、5つの池等があり、市民に親しまれています。</p> <p>江別市内には官民の大規模研究施設が立地し、4大学・1短大があります。近年、研究施設や大学が市内生産者・製造業と連携し地域ブランド創りへの挑戦も盛んになっています。また、研究施設・大学とも市民向けのイベント・セミナーなどを開催するなど、地域に開かれた取組みも積極的です。</p> <p>江別市の産業は第三次産業が中心ですが、農業は大消費地の札幌市に隣接していることもあり、稲作、畑作、酪農等多岐にわたっています。初冬まき栽培で有名な幻の小麦「ハルユタカ」、首都圏で有名な乳製品の自家生産企業、ハム・ソーセージの製造企業等のほか、シーズンには多くの野菜直売所がオープンします。</p>
	 
	外輪船(旧岡田倉庫)
2. 市内の河川の概要	
①主な河川	<ul style="list-style-type: none"> ・石狩川(一級河川石狩川水系、流域面積14,330km²、流路延長268km) ・千歳川(一級河川石狩川水系、流域面積1,244km²、流路延長108km) ・夕張川(一級河川石狩川水系、流域面積1,417km²、流路延長136km) ・豊平川(一級河川石狩川水系、流域面積902km²、流路延長72.5km) <p>石狩川は、江別市の北部に面し、大雪山系石狩岳の西斜面に源を発して上川盆地、石狩平野を経て432の支川を合わせ日本海に注ぐ一級河川です。</p> <p>千歳川は、我が国を代表するカルデラ湖で国内有数の透明度を誇る支笏湖を源とする、石狩川流域の主要な一次支川です。支笏湖周辺は豊かな自然環境によって支笏洞爺国立公園を構成しています。千歳川は全国有数のサケ遡上河川であり、秋には多くの観光客が訪れます。市街地にある河川管理用道路をはじめとする河川空間は、市民によるイベント空間や散策路等としても利用されています。</p> <p>また、夕張川は江別市の東部、豊平川は江別市の西部に面する、石狩川流域の主要な一次支川です。</p>

②河川と江別市や民間事業者との関わり

石狩川・千歳川合流点の江別河川防災ステーションで開催される「こいのぼりフェスティバル」やNPO主体で開催された「ミズベのロングマーケット」等、河川管理者・自治体・事業者が連携した多くのイベントが開催されており、千歳川は周辺地域の社会・文化と深い結びつきを持っています。

また、生活の基礎や歴史、文化や風土を形成してきた千歳川の恵みを活かしつつ、自然とのふれあい、釣り等の趣味、イベント等の河川利用、環境学習の場等として安全に活用できるよう、地域の活性化に寄与する場の整備に努めています。

■石狩川河川敷緑地（昭和51年）

ソフトボール場2面、サッカー場2面、駐車場2箇所が整備された石狩川河川敷の公園緑地であり、地域のスポーツの場として多くの人に利用されています。

市民体育大会、小中学生等の野球大会、江別市内の保育園の運動会等の各種イベントが開催されています。



石狩川河川敷緑地

③これまで実施済みの関連施策

■江別河川防災ステーション（平成14年完成）

水防資器材の備蓄、水防活動の拠点基地や災害時の避難場所として活用するための施設として、千歳川合流点付近に計画・整備されました。

平常時における防災研修の場や河川情報の提供、川を題材とした歴史、川の恩恵などの展示をはじめ、防災意識の向上に努めるほか、市民の憩いの場として親しまれる空間づくりを展開しています。



河川防災ステーション

■アールスペース外輪船（平成17年7月オープン）

歴史的建造物である外輪船（旧岡田倉庫）を、江別の芸術・文化の発信基地となるイベントスペースとしてリニューアルしました。

「旧岡田倉庫活用民間運営協議会」が江別市から借り受けて管理・運営を行っており、演劇・コンサート・講演会等の各種イベントに利用されています。

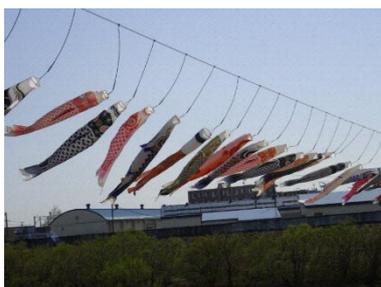


アールスペース外輪船

④市民や民間事業者による河川利活用状況

江別市は、度々石狩川や千歳川の洪水氾濫に見舞われてきた地域ですが、河川整備が進められており、多くの市民が憩いや自然とのふれあい、イベントの場として広く河川空間を利活用しています。

- ・千歳川沿いの河川管理用道路で、散策を楽しむ光景が見られます。
- ・春には「こいのぼりフェスティバル」、夏には「えべつ花火」「石狩川リバーセービング」など、多くのイベントが開催されており、過去にNPO主体で開催された「ミズベのロングマーケット」では、千歳川沿いで多くの市民がコンサート・雑貨販売等を楽しんでいます。
- ・江別河川防災ステーションでは、江別の観光の紹介及び物産の販売を行っており、平成14年度～令和2年度の平均で年間約5.8万人が来場しています。
- ・市民や地元のNPO等と河川管理者が連携しながら、市民参加による清掃活動等の維持管理や小学生を対象とした水生生物の観察会等の環境教育に取り組んでいます。



こいのぼりフェスティバル



えべつ花火



野菜直売所（防災ステーション）

水辺とまちづくりに関する基本方針

江別市では、「えべつ未来づくりビジョン（第6次江別市総合計画）」に基づき、地域資源を活かし江別観光の魅力をさらに高めるとともに、商店街の活性化等を推進し、観光による産業の振興に努めています。地域資源の発掘と活用、観光・イベント情報の発信を行い、江別市のイメージアップ、物産と観光が融合した江別ブランドの確立を図っているところです。

「江別市都市計画マスタープラン 2014」における江別地域のまちづくり構想に基づき、江別駅周辺の歴史性や境界性、良好な河川環境等の特性を活かした地域の魅力向上を目指して、地区核にふさわしい JR 江別駅周辺の再構築による周辺市街地との連鎖的な活性化、重要な地域資源である千歳川と共存した地域づくりを推進しています。

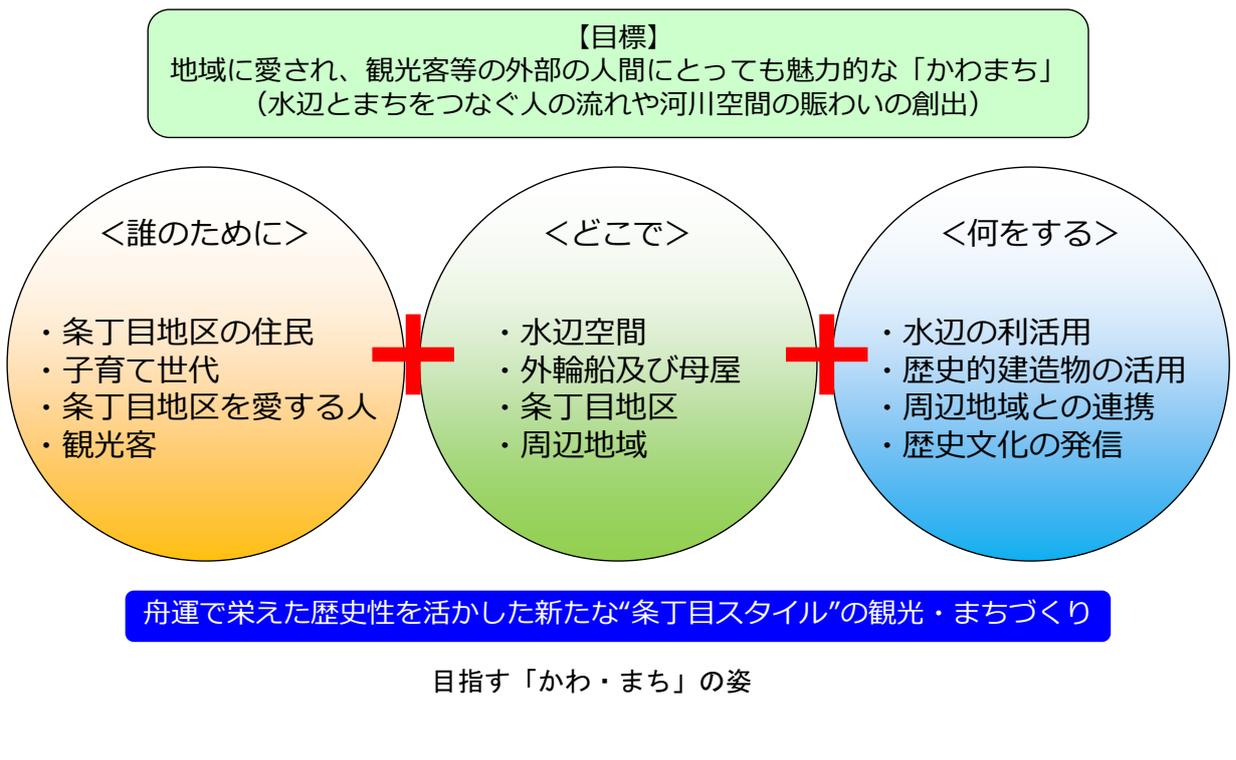
平成 30 年 3 月に「江別市観光振興計画」を策定し、各主体が役割を分担しつつ、観光資源を活かした魅力づくりと観光プロモーション、市民や事業者が実感する観光まちづくりを推進し、「食と農の豊かな実り、れんがと歴史にふれる街」を目指しています。

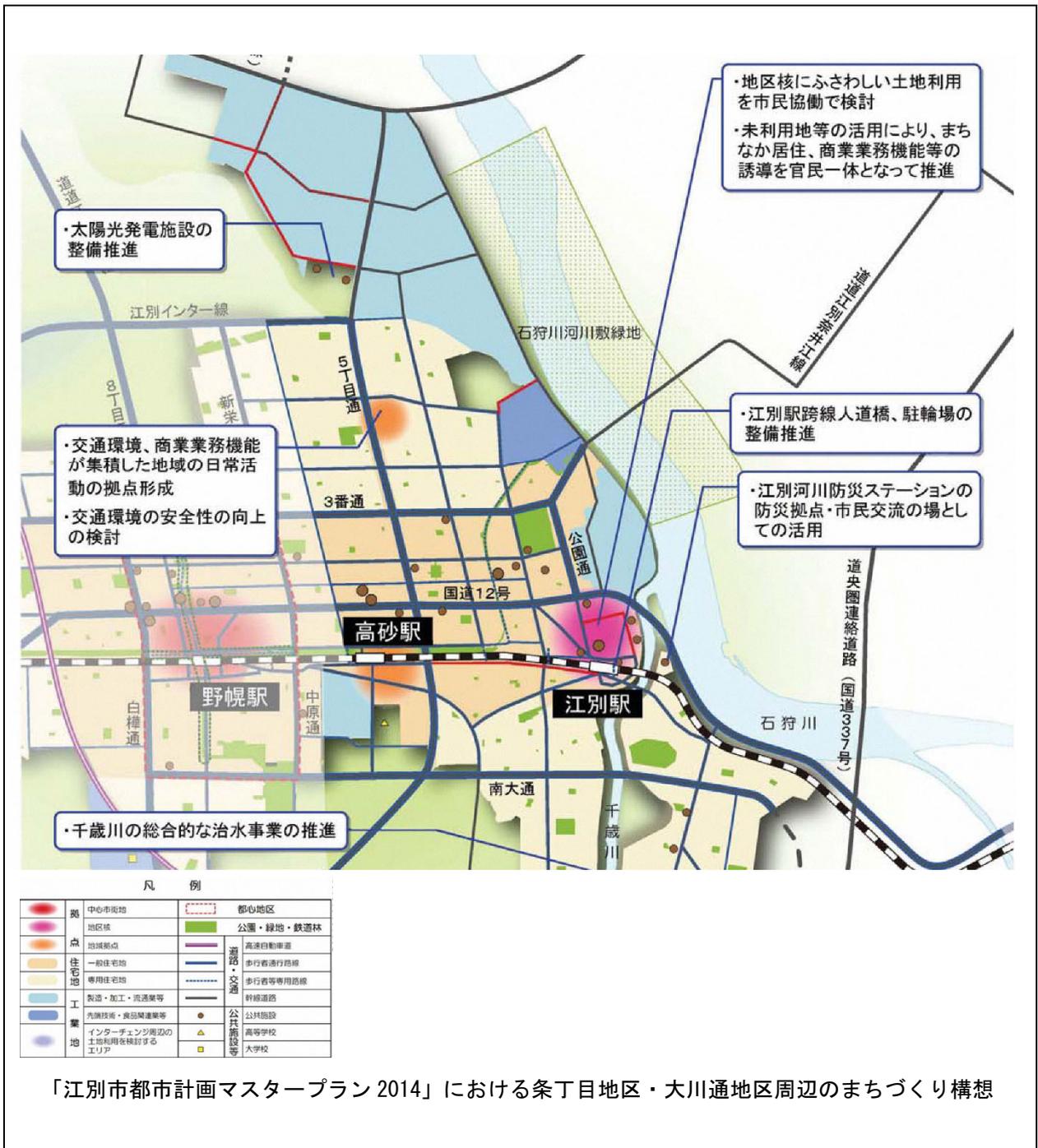
「江別市景観形成基本計画」（平成 18 年 3 月）では、市民が集う JR 江別駅前や商店街等の条丁目地区で、まちの顔として楽しく活気があり「魅力」ある景観として「江別らしさ」「心地よさ」「活気」のある景観や、千歳川と調和した緑豊かで潤いのある景観を目指した取り組みを行っています。

上記の事業と連携し、江別市かわまちづくり協議会とかわまちづくり勉強会では、今回の「かわまちづくり」計画を水とまちをつなぐ人の流れや河川空間に賑わいを創出することを目標に位置付けました。具体的には、江別市条丁目地区・大川通地区と千歳川が一体となった水辺空間の活用、条丁目地区内の歴史的建造物の活用、周辺地域との連携、条丁目地区の歴史・文化の発信を推進し、江別港を中心に舟運で栄えた江別市条丁目地区の歴史性を活かした新たな「条丁目スタイル」の観光・まちづくりによる賑わいの創出により、条丁目地区・大川通地区を含む江別市の地域活性化に寄与することを目指します。

【数値目標】

- ① 大川通地区の高水敷を整備し、キャンプ場運営やイベントの企画により、年間 1 万人の集客を目指します。
- ② 条丁目地区では水辺空間を活用したイベントや日常利用により、年間 1 万人の集客・利用を目指します。





1. 河川名
石狩川水系千歳川
2. 提案事業の実施範囲
千歳川 江別市条丁目地区・大川通地区
3. 提案事業の概要
<p>千歳川 江別市条丁目地区・大川通地区</p> <p>【協議会・勉強会の発足】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年11月、江別市、学識経験者、地元関係者等からなる「江別市かわまちづくり協議会」を設立し、江別市街築堤整備（石狩川・千歳川堤防整備）に伴い移設を要する外輪船（旧岡田倉庫）の利活用方法等について検討するとともに、外輪船（旧岡田倉庫）周辺の河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す取組について協議してきました。 ・令和3年1月以降、「江別市かわまちづくり協議会」のワーキンググループとして、「江別市かわまちづくり勉強会」を定期的開催し、条丁目地区・大川通地区の水辺整備や河川空間の利活用推進に向けた意見交換を行いました。 ・今後、民間事業者を加え、事業を遂行する実行組織の発足を支援します。 <p>【既存制度の活用と展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川敷地占用許可準則第22による「都市・地域再生等利用区域」の指定につなげることで、条丁目地区内の事業者・店舗等の河川区域での営利活動を可能とし、観光誘客を図ります。 ・江別市を占有主体として、「江別市かわまちづくり協議会」により利活用の方針を検討しつつ、民間事業者（実行組織）と連携して河川空間の活用を図ります。 <p>【ソフト施策】</p> <p>地域のニーズに沿ったソフト施策の実施による魅力向上と地域のブランドイメージ定着を図ることにより、地域に愛され観光客等の外部の人間にとって魅力的な「かわまち」を目指します。</p> <p>1) 千歳川の水辺空間を活用した新たなイベントの企画（観光協会、NPO、民間事業者等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ミズベのロングマーケット」等のイベントで実施されているコンサート・雑貨販売等に加えて、地域の歴史・文化や市民のニーズを踏まえ、周辺地域やJR江別駅等の拠点施設と連携して、水辺空間を含む広域的な観光誘客に資する新たなイベントの企画を検討していきます。 ①夏の灯籠流し・いかだ下り（地元大学との連携） ②水辺でのやきもの市、キッチンカーによる飲食販売、お茶会、ヨガ体験、演劇（水辺への拡張） ③「アートスペース外輪船」でのコスプレイヤーによる写真撮影会、海外アーティストの展示会（既存イベントの拡張） ④歴史的建造物と融合したプロジェクションマッピング ⑤石狩川・千歳川合流点の高水敷におけるキャンピング（アウトドア事業者との連携） <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>灯籠流し</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>飲食販売</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>プロジェクションマッピング</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>キャンピング</p> </div> </div> <p>2) 冬のイベント・アクティビティプランの設定（観光協会・民間事業者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬の水辺空間の利活用に関する地域の潜在的なニーズがあることから、多種多様な冬のアクティビティのプランを設定し、冬期の観光誘客を図ります。 ①河川管理用通路沿いのアイスキャンドル（既存のアイスキャンドル・イルミネーションイベントの水辺への拡張） ②堤防沿いの緩斜面を利用したそり滑り（地元幼稚園・保育園との連携、子育て家庭への周知） ③日常的に利用可能なファットバイク・クロスカントリースキーコースの設定



アイスクャンドル



そり滑り



ファットバイク



クロスカントリースキー

3) 広域観光周遊モデルコースの設定（江別市）

・大川通地区に位置する江別河川防災ステーションには多くの市民や観光客が来場しており、連携した利活用の推進による相乗効果が期待できることから、様々な志向の人が好みに応じて気軽に利用できるよう、水辺—歴史的建造物（旧北陸銀行江別支店等）—拠点施設（JR 江別駅等）—周辺地域（四季のみち等の遊歩道）をつなぐ多種多様なコース・プランを設定します。

- ①「JR ヘルシーウォーキング」等の既存イベントと融合した観光プラン（観光協会等との連携）
- ②市民が日常的に利用可能な散歩・ジョギング・サイクリングコースの設定



歴史的建造物
（旧北陸銀行江別支店）



拠点施設
（JR 江別駅）



遊歩道（四季のみち）
（蔦屋書店付近）



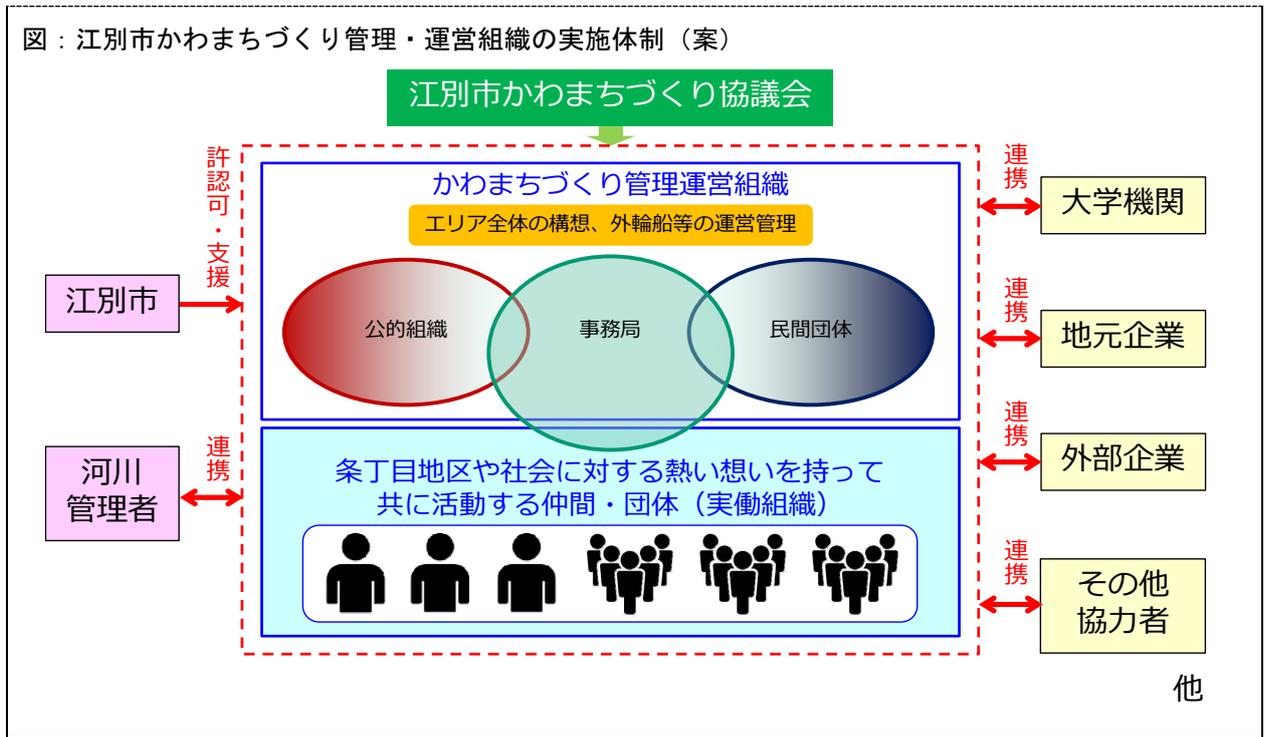
JR ヘルシーウォーキング*

（参考）

図：江別市条丁目地区・大川通地区周辺位置図

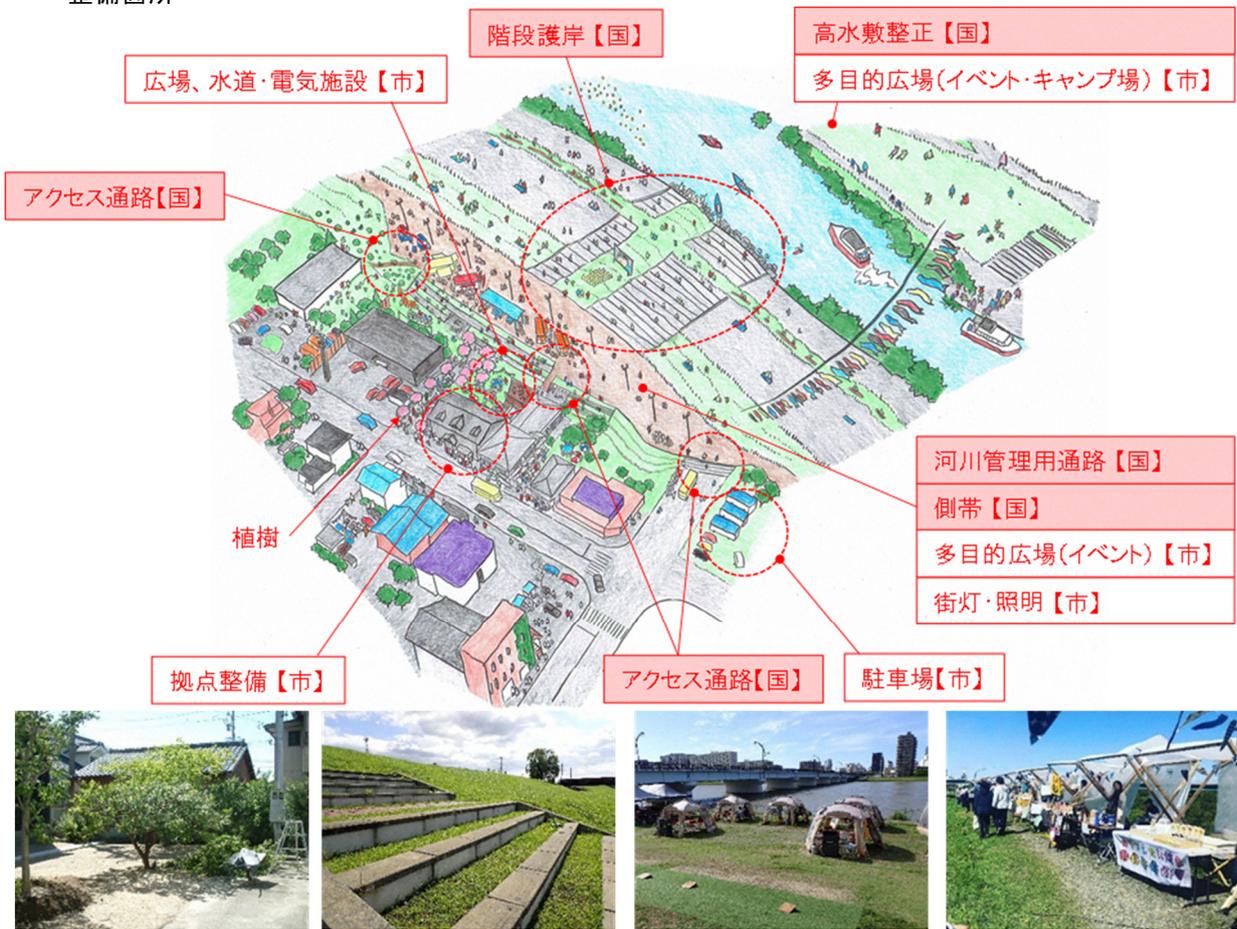


図：江別市かわまちづくり管理・運営組織の実施体制（案）



支援整備内容の概要（ハード施策）

1. 河川名	石狩川水系千歳川		
2. 整備範囲	千歳川下流（江別市条丁目地区・大川通地区）		
3. 整備内容	<p>外輪船（旧岡田倉庫）を条丁目地区・大川通地区における地域観光・まちづくりの拠点に位置づけ、地域の歴史・文化・観光等に関する情報を発信するとともに、市民に日常的に水辺を利用してもらい、水辺とまちをつなぐ人の流れや河川空間の賑わいを創出するため、江別市条丁目地区・大川通地区の水辺整備を実施します。</p> <p>【ハード施策】</p> <ol style="list-style-type: none"> 千歳川の水辺整備（国：側帯、階段護岸、高水敷整正、河川管理用通路、アクセス通路） 外輪船（旧岡田倉庫）を河川空間の利活用拠点（「かわ」と「まち」の結節点）として、外輪船（旧岡田倉庫）と水辺をつなぎ「かわ」「まち」間の動線を創出するための水辺整備を実施する。 条丁目地区の施設整備（江別市：拠点整備、多目的広場、駐車場、街灯・照明、水道・電気施設） 水辺の観光ポテンシャル・利便性向上に向けて、子どもたちが安心して遊び、市民が憩い愛着を持って接することができる河川空間の創出のための整備を実施する。 周遊コース案内看板等の整備（江別市） 「まち」から「かわ」への観光動線を創出するため、水辺—旧北陸銀行江別支店等の歴史的建造物—JR 江別駅等の拠点施設をつなぎ観光周遊コースへ案内・誘導する看板・路面標示を整備する。 		
（参考）整備予定箇所位置図			
<p>植樹のイメージ</p>	<p>階段護岸のイメージ</p>	<p>高水敷整正のイメージ</p>	<p>側帯のイメージ</p>

<p>1. 整備内容名 千歳川下流（江別市条丁目地区・大川通地区） 江別市かわまちづくり</p>
<p>2. 整備概要</p> <p>・整備箇所</p> 
<p>3. 整備の必要性、有効性</p> <p>石狩川と千歳川が合流する当該地区は、明治時代に始まった北海道の開拓において主要な交通手段だった小樽～幌内を結ぶ鉄道（明治 15 年開通）と上流へ向かう舟運の結節点であり、江別港と呼ばれていました。このため明治後半～大正にかけて繁栄し、共同の船着場や旧岡田倉庫を含む倉庫群が建設されました。昭和期においても官公庁、製紙工場、映画館や旅館等により賑わっていましたが、舟運の衰退や幹線道路の移設等により賑わいは落ち着き、現在では、歴史的建造物が数多く点在する地区となり、外輪船（旧岡田倉庫）は演劇・コンサート・講演会等の各種イベントに利用されています。</p> <p>現在、千歳川では、昭和 56 年に発生した未曾有の洪水を安全に流下させることを目的に治水事業が進められています。当該地区の江別市街築堤は背後に市街地を有する重要な区間ですが、堤防整備に伴い外輪船（旧岡田倉庫）の移設が必要となり、移設後の利活用方法を早急に検討する必要が生まれました。一方、江別市は、大都市札幌に近いという地理的要因等から通過型観光が多い状況でしたが、市内の観光資源を生かし道内や近隣市町村からの誘客が重要となっており、歴史性等の特色を生かした土地利用を目標としています。また市民からも、川のある暮らしを望む声が挙がっていました。</p> <p>そこで今回の堤防整備に併せて、外輪船（旧岡田倉庫）の歴史的景観を活かしつつ水辺とまちを一体的に整備し、当該地区の認知度・知名度、イベントでの利用価値、観光ポテンシャルを向上させることで、交流人口の増加、歴史的経緯を踏まえた水辺の賑わいの創出、水辺を活用したイベントによる市内外からの広域的な観光誘客を図ります。周辺では近年住民の転入や保育施設の開設等も見られはじめており、日常においても周辺施設と一体となった水辺空間を創出しつつ、江別市の観光誘客に併せたまちなか居住を推進することで地域の魅力向上と活性化を図っていきます。</p>

4. 整備の実現方策

【関連事業の整備計画】

- ・江別市では「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、平成 27 年度から 5 ヶ年計画で観光振興による交流人口の増加と経済活性化を目指しています。具体的な事業として、大学及び学生等との連携事業、学生地域活動補助事業、グリーンツーリズム関連事業（直売所等）、北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区の取り組みを首都圏の企業に PR する広報事業等があります。
- ・令和元年 8 月に設立された「さっぽろ連携中枢都市圏観光協議会」は、札幌市及び近隣の 11 市町村（小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町）が連携し、観光客を増加させ、圏域全体の観光消費を増大させるため、観光振興に関する取組を企画・立案し、ツーリズム連携等の戦略的な共同プロモーション事業等を実施しています。
- ・上記の事業と連携することにより、賑わいのある水辺空間の利活用の推進を図ることができます。
- ・条丁目地区の利活用拠点となる外輪船（旧岡田倉庫）は、千歳川の築堤整備に伴い移設される予定であり、工事に合わせて利便性を確保できるよう、関係機関や河川管理者と調整を進めています。

【整備工程】

整備項目等	実施主体	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
かわまちづくり協議会・勉強会	江別市	← 運営組織・実施事業の具体化検討			← 運営組織・実施事業の支援・評価			
旧岡田倉庫（外輪船）移設	江別市	←						
条丁目地区施設整備	江別市		←					
周遊コース・市内看板等	江別市		←				→	
水辺整備	江別河川事務所		←					

- ・令和 10 年度からはモニタリングを実施予定（令和 14 年度まで）

5. 推進体制

令和 2 年 11 月に江別市、学識経験者、地元関係者の連携の下、江別市街築堤整備に伴い移設を要する外輪船（旧岡田倉庫）の利活用方法等を検討し、外輪船（旧岡田倉庫）周辺の河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す取組について協議することを目的とした「江別市かわまちづくり協議会」を設立しました。

令和 3 年 1 月から、江別市と河川管理者による「江別市かわまちづくり勉強会」を開催し、より具体的な事業計画の策定と実践に向けた議論・検討等を推進しました。

現時点で、河川占用許可準則第 22（都市・再生等利用区域の指定）に基づく営利活動を行う民間事業者の参入が見込まれており、事業を遂行・運営する実行組織の発足を目指します。

6. 有効利用および維持管理

①有効利用に関する計画

- ・地域の観光ポテンシャルを有効活用したソフト施策の実施による魅力向上と地域のブランドイメージ定着を図ることにより、地域や観光客等の外部の人間にとって魅力的な「かわまち」を目指します。
- ・子どもたちが安心して遊び、市民が憩い愛着を持って接することができる河川空間を整備することにより、条丁目地区・大川通地区の地域づくりに寄与します。

②維持管理計画

- ・外輪船（旧岡田倉庫）及び水辺の整備施設の内、河川管理施設等の防災上必要とされる施設機能の維持管理については、河川管理者が行います。
（国：河川管理用道路、護岸等）
- ・非常時（洪水氾濫時及び事後）における河川空間等の管理については、河川管理者が行います。
- ・河川等の占用に伴う占用物に対する日常的な維持管理・清掃等に関しては、江別市、地元関係者、民間事業者等からなる実行組織）及び河川管理者が連携して実施します。
- ・維持管理費用については、官民で分担して永続的に維持管理が可能となるよう、適切なライフサイクルコストを検討していきます。

7. 特徴

当該地区は、石狩川・千歳川（当時は夕張川も）の合流点であり、さらに明治 15 年までに開通した鉄道および江別駅設置により、当時の主要な交通手段である舟運と鉄道の結節点となり、江別港と呼ばれていました。上流からは船で農産物（小豆、大豆、麦、雑穀）や木材を運び、当地区で鉄道へ積み替えて札幌や小樽や本州へ、下流からは生活物資（米、味噌、砂糖、酒、衣服、薬品、石材、鉄）を鉄道で運び、当地区で船に積み替えて石狩川や千歳川（夕張川）の上流へ運んでいました。

これにより、明治 30 年代後半から大正にかけて、雑穀（麦、豆、そば、種、肥料）を扱う商人が増え、共同の船着場や外輪船（旧岡田倉庫）が建設されたほか、明治 35 年には江別駅～千歳川の船着場まで線路が建設されるなど、繁栄しました。

昭和に入ってから、官公庁、王子製紙及びその社宅、3 つの映画館や多くの宿、料理店、百貨店、飲食店などが存在し、賑わいを見せていました。しかしながら、地区を通っていた幹線道路の移設や、札幌に近い地区の開発等により、現在は歴史的建造物が建つ比較的落ち着いた地域になっています。

「江別市かわまちづくり」の整備により、既存の歴史的建造物の利活用施設としての機能を充実させ、観光・歴史・文化・まちづくりに関する効果的な情報発信を行うことにより、条丁目地区・大川通地区の認知度・知名度向上、歴史的建造物を中心に「かわ」と「まち」が一体となった賑わいの創出を図ります。



北海道演劇祭



外輪船アート展



えべつ秋の特産味覚まつり



「まちあかり江別」イルミネーション

<様式6>

その他特筆すべき事項

1. 江別市かわまちづくり協議会

令和2年11月以降、「江別市かわまちづくり協議会」を計5回開催しており、江別市街築堤整備（石狩川・千歳川堤防整備）に伴い移設を要する外輪船（旧岡田倉庫）の利活用方法や「かわまちづくり」計画等に関する協議結果を議事要旨としてとりまとめ、ホームページで公開しています。

「江別市かわまちづくり協議会」開催状況

No.	開催日時	概要
第1回	日時：令和2年11月4日（水） 14:00～16:00 場所：江別市民会館 小ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の目的と進め方について ・旧岡田倉庫の利活用及び移設先について ・旧岡田倉庫利活用ワーキンググループの設置・開催日について
第2回	日時：令和2年12月21日（月） 14:00～16:00 場所：江別市民会館 小ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・旧岡田倉庫利活用ワーキンググループ開催報告 ・旧岡田倉庫の施設、活動概要等 ・かわまちづくりの進め方について
第3回	日時：令和3年9月28日（月） ※書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・前回協議会での議事内容について ・旧岡田倉庫の移設に係る状況報告 ・かわまちづくりロードマップ（案） ・かわまちづくり勉強会の位置づけ
第4回	日時：令和3年10月25日（月） 14:00～16:00 場所：江別市民会館 3F 37号室	<ul style="list-style-type: none"> ・前回協議会の振り返り ・かわまちづくり勉強会開催報告 ・かわまちづくりの進め方について ・かわまちづくり計画について
第5回	日時：令和4年1月24日（月） 10:00～12:00 場所：江別市民会館 小ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・前回協議会の振り返り ・かわまちづくり勉強会開催報告 ・かわまちづくり計画書の概要 ・かわまちづくり計画書（素案）について
第6回	日時：令和4年3月29日（火） 10:00～12:00 場所：江別市民会館 3F 37号室	<ul style="list-style-type: none"> ・前回協議会の振り返り ・かわまちづくり勉強会開催報告 ・パブリックコメント結果報告 ・かわまちづくり計画書について

2. 江別市かわまちづくり勉強会

令和3年1月以降、「江別市かわまちづくり協議会」のワーキンググループとして「江別市かわまちづくり勉強会」を計6回開催しており、開催結果をニュースレターとして整理し市民に周知しています。また、地元から幅広い意見を収集するため、幼稚園・保育園、地元企業・大学を対象とした個別ヒアリングや地元住民との現地視察を実施し、「江別市かわまちづくり勉強会」での議論・検討に反映させています。

「江別市かわまちづくり勉強会」開催状況

No.	開催日時	概要
第1回	日時：令和3年1月19日（火） 18:00～20:00 場所：江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・かわまちづくり協議会と勉強会について ・江別市街築堤の整備について ・かわまちづくり支援制度について ・意見交換
第2回	日時：令和3年3月23日（火） 18:00～20:00 場所：江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・前回勉強会の振り返り ・かわまちづくり先行事例の紹介 ・意見交換をしながらのドローイング ・今後の勉強会の進め方について
第3回	日時：令和3年9月28日（火） 18:00～21:00 場所：ZoomによるWeb開催	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会の位置づけ、今後の進め方 ・前回勉強会・個別ヒアリングの振り返り ・意見交換をしながらのドローイング ・ハード整備の実施区分について
第4回	日時：令和3年10月18日（月） 18:00～21:00 場所：江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の進め方について ・前回勉強会の振り返り ・ハード整備・ソフト施策内容（案） ・かわまちづくりに関するグループワーク
第5回	日時：令和3年11月16日（火） 18:00～20:00 場所：江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・支援制度への申請までの流れ・ ・旧岡田邸母屋の調査状況 ・千歳川流域の治水・利用・環境の取り組み ・ハード整備内容（案）の概要 ・都市・地域再生等利用区域の指定 ・かわまちづくりに関するグループワーク
第6回	日時：令和3年12月21日（火） 18:00～20:00 場所：江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会・支援制度への申請までの流れ ・前回勉強会の議事内容等 ・千歳川の堤防について ・かわまちづくり計画について ・かわまちづくりに関するグループワーク
第7回	日時：令和4年1月26日（水） 18:00～20:00 場所：ZoomによるWeb開催	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会・支援制度への申請までの流れ ・前回勉強会の議事内容等 ・かわまちづくり計画について ・かわまちづくり計画書（素案）について
第8回	日時：令和4年3月17日（木） 18:00～20:00 場所：ZoomによるWeb開催	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会・支援制度への申請までの流れ ・前回勉強会の議事内容等 ・パブリックコメント調査結果 ・イベント活動報告 ・かわまちづくりに関する意見交換

<江別市かわまちづくり協議会ホームページ>



[はじめての方へ](#)
[背景色を交える](#)
 白 黒 青
 [文字の大きさ](#)

[Foreign language](#)
[サイトマップ](#)
[携帯サイト](#)

[トップページ](#) > [組織・課名でさがす](#) > [商工労働課](#) > 江別市かわまちづくり協議会

江別市かわまちづくり協議会

[印刷用ページを表示する](#) 掲載日：2021年9月28日更新

江別市かわまちづくり協議会は、江別市街築堤整備（石狩川・千歳川堤防整備）に伴い移設を要する旧岡田倉庫の利活用方法等について検討するとともに、旧岡田倉庫周辺の河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す取組について協議することを目的としています。

要綱・委員

- ・ [江別市かわまちづくり協議会設置要綱](#) [PDFファイル/62KB]
- ・ [江別市かわまちづくり協議会委員名簿（任期：令和2年11月4日～令和4年3月31日）](#) [PDFファイル/27KB]

江別市かわまちづくり協議会会議録（要旨）

令和2年度	第1回（令和2年11月4日） [PDFファイル/153KB]	資料1 [PDFファイル/46KB] 資料2 [PDFファイル/212KB] 資料3 [PDFファイル/9.73MB] （参考資料） ・ 江別市街築堤整備（石狩川・千歳川堤防整備）について [PDFファイル/2.49MB] ・ 旧岡田倉庫位置図について（用地ライン入り） [PDFファイル/274KB] ・ 地元自治会等からの要望書 [PDFファイル/2.9MB]
	第2回（令和2年12月21日） [PDFファイル/140KB]	資料1 [PDFファイル/214KB] 資料2 [PDFファイル/4.83MB] ※一部省略 資料3 [PDFファイル/394KB] 資料4 [PDFファイル/78KB]
令和3年度	第1回（令和3年9月28日：書面開催） [PDFファイル/217KB]	議事内容 [PDFファイル/135KB] 資料1 [PDFファイル/188KB]

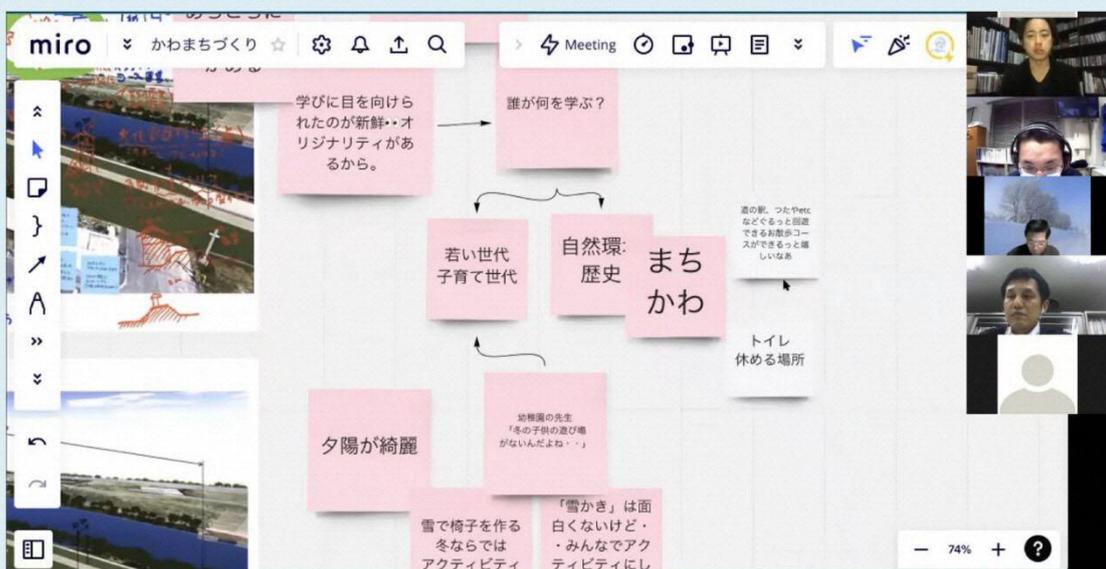
江別市かわまちづくり勉強会 NEWS LETTER

Vol.07 2022.2.7

第7回勉強会 報告：1/26（水）開催

旧岡田倉庫の利活用と条丁目地区のかわまちづくりに関する協議を行うために設立された「江別市かわまちづくり協議会」のワーキンググループとしてWeb勉強会を開催しました。Web勉強会では、江別市から前回勉強会の振り返り等を行い、その後参加者が4グループに別れて、「これまでの勉強会で話せてよかったこと」「これまでの勉強会でまだ話せていないこと」「今後の勉強会はどのようなやり方がよいか？」というテーマで「グループワーク」を行いました。

新型コロナ禍の非常に厳しい状況にありますが、色々な方々と議論を重ねながら、条丁目地区を元気にしていきたいと思えます。



●グループワークの概要

「これまでの勉強会で話せてよかったこと」「これまでの勉強会でまだ話せていないこと」「今後の勉強会はどのようなやり方がよいか？」をテーマに活発な意見交換が行われ、「どのアイデアが実現可能で誰がやるのかを詰める必要がある」「今後も意見交換の場が必要である」「議論するテーマの細分化が望ましい」「質の高い勉強会とするための進め方を学ぶ必要がある」等の意見が出ました。

江別市かわまちづくり勉強会って何？

千歳川と江別市条丁目地区の歴史や文化、人々のつながりを活かしながら、条丁目地区をより明るく元気するための「かわまちづくり」に関する勉強や意見交換をしています。
条丁目地区の未来を一緒に考えましょう！

次回勉強会は
令和4年3月
開催予定
です！

【事務局】江別市役所商工労働課内

(電話) 011-381-1023 (Eメール) shoko2@city.ebetsu.lg.jp



江別市
Ebetsu City

資料 5 ②

令和4年度江別市かわまちづくり協議会・勉強会 ロードマップ(案)

年月		協議会	勉強会	その他
令和4年	6月		【第9回勉強会(6月30日)】 第一部 大川通地区(石狩川・千歳川合流点付近)の視察 第二部 かわまちづくりに関する意見交換 1.かわまちづくりについての説明 ・これまでの勉強会の振り返り ・かわまちづくり計画の概要 ・ロードマップについて 2.意見交換(グループワーク) ・対岸側河川空間の利活用について	かわまちづくり計画申請
	7月			
	8月	【令和4年度第1回協議会(8月25日)】 委嘱状交付 議題 ・かわまちづくり計画書について ・かわまちづくりの進め方について ・対岸側河川空間の利活用について		かわまちづくり計画登録
	9月	【令和4年度第2回協議会】 議題 ・かわまちづくり計画の登録について ・対岸側河川空間の利活用について ※利活用、整備方針の決定	【第10回勉強会(9月1日)】 かわまちづくりに関する意見交換 1.かわまちづくりについての説明 2.意見交換(グループワーク) 対岸側河川空間の利活用について	
	10月		【第11回勉強会】 第一部 旧岡田倉庫(外輪船)の視察 第二部 かわまちづくりに関する意見交換 1.かわまちづくりについての説明 ・かわまちづくり計画の登録について 2.意見交換(グループワーク) ・旧岡田倉庫(外輪船)の利活用方法等について	
	11月	【令和4年度第3回協議会】 議題 ・旧岡田倉庫(外輪船)の利活用方法等について ※利活用方法、移設位置について協議		
	12月		【第12回勉強会】 かわまちづくりに関する意見交換 1.かわまちづくりについての説明 2.意見交換(グループワーク) ・旧岡田倉庫(外輪船)の利活用方法等について	
令和5年	1月	【令和4年度第4回協議会】 議題 ・旧岡田倉庫(外輪船)の利活用方法等について ※倉庫移設位置の決定 ・かわまちづくり協議会について		
	2月		【第13回勉強会】 かわまちづくりに関する意見交換 1.かわまちづくりについての説明 2.意見交換(グループワーク) ・ハード整備内容について ・管理運営体制について	
	3月	【令和4年度第5回協議会】 議題 ・ハード整備内容について ・管理運営体制について ・今後の協議会、勉強会について		【目標】 令和4年度内に ・旧岡田倉庫の利活用方法等 ・ハード整備内容 ・管理運営体制 の具体的な施策を決める。

区分		概要
共通		非日常的で新しい暮らし方の体験・発信できる場所の創出
		非日常と日常の接続（日常から非日常へのフィードバック）
		景観や安全への配慮
		使用基準の明確化
全般	整備	現状の有効活用
		地域の人たちが自由に使用できる環境整備
親水整備	整備	親水公園（河川水の導水・浄化）
浮島（舞台・ワーキングスペース）		
アクセス整備		国道12号からのアクセス階段・ループ橋 吊り橋・水中トンネル
全般	活用	移動式の施設による実験的なイベントの実施
		必ずしも水に接しない遊び方
高水敷利用		地元の良さを子どもに伝える学びの空間としての利用
		キャンプ
		音楽フェス・音楽練習 水フェス（シャボン玉・水鉄砲）

区分	概要
高水敷利用	凧揚げ・風で鳴る楽器のイベント
水面利用	ライブ・オペラ・ダンス・演劇（防災ST船着き場）
利活用	花火大会（船上での観覧）
環境・体験・防災学習	遠足コース
その他	防災ステーションでの歴史・防災体験
運営その他	自然体験・バードウォッチング（宿泊）
	サイクリングとの連携
	資金循環のスキーム構築
	収益還元等をマネジメントする組織の設立
	王子製紙との連携（工場夜景）

各ゾーンの機能・目的

- 駐車ゾーン⇒利用者の効果的な誘導
- 親水ゾーン⇒水辺の親水性向上
- 水面利用ゾーン⇒水面の有効活用
- キャンプゾーン⇒非日常空間の提供
- 遊び場・イベントゾーン
⇒地域の多様なニーズに対応した場の提供
- 自然散策ゾーン⇒環境教育等の場の提供
- 芸術ゾーン⇒文化芸術活動の支援

キャンプゾーン
[整備] 高水敷整正
[利活用] キャンプ・バーベキュー

遊び場・イベントゾーン
[整備] 高水敷整正
[利活用] 各種イベント・広場

駐車ゾーン
[整備] 高水敷整正
[利活用] 利用者の駐車

水面利用ゾーン
[整備] なし
[利活用] 船上花火大会(観覧)

親水ゾーン
[整備] 親水広場(フンド)
[利活用] 水遊び・水フェス

水面利用ゾーン
[整備] なし
[利活用] 船上花火大会(観覧)

自然散策ゾーン
[整備] なし
[利活用] 散策・遠足・ボードウォッチング

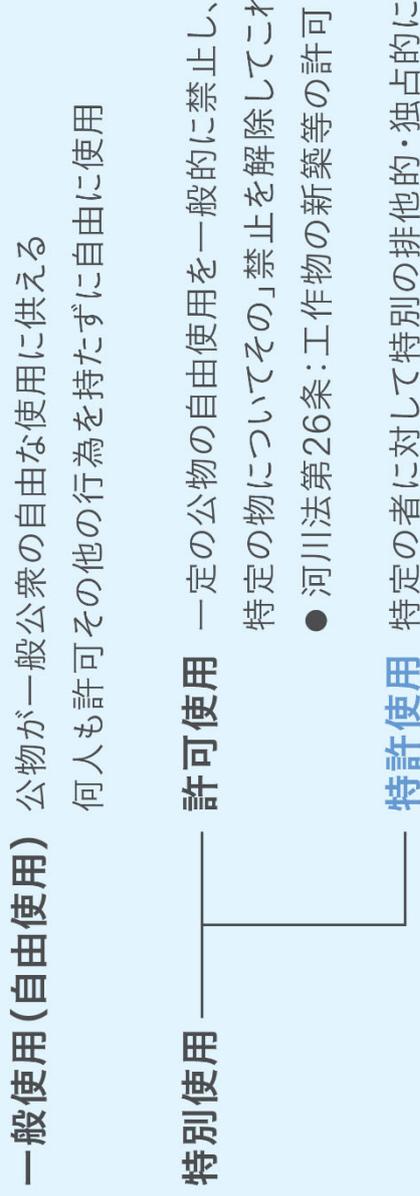
条丁目地区

芸術ゾーン
[整備] なし
[利活用] 音楽フェス・演劇等

基本的に千歳川は公共用物であり、自由に利用できるものの、自由使用の範囲を超えて排他的・継続的に使用する場合は、河川管理者の許可を受ける必要がある。

河川敷地を占有※する場合は「河川敷地占有許可準則」に基づく許可手続きが必要となるが、占有の考え方や手続きは河川管理者の自由裁量で行われている。

公物の使用関係



● 河川法第23条：流水の占有の許可

第24条：土地の占有の許可

出典：国土交通省ホームページ (<https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyou/machizukuri/pdf/tebiki.pdf>)

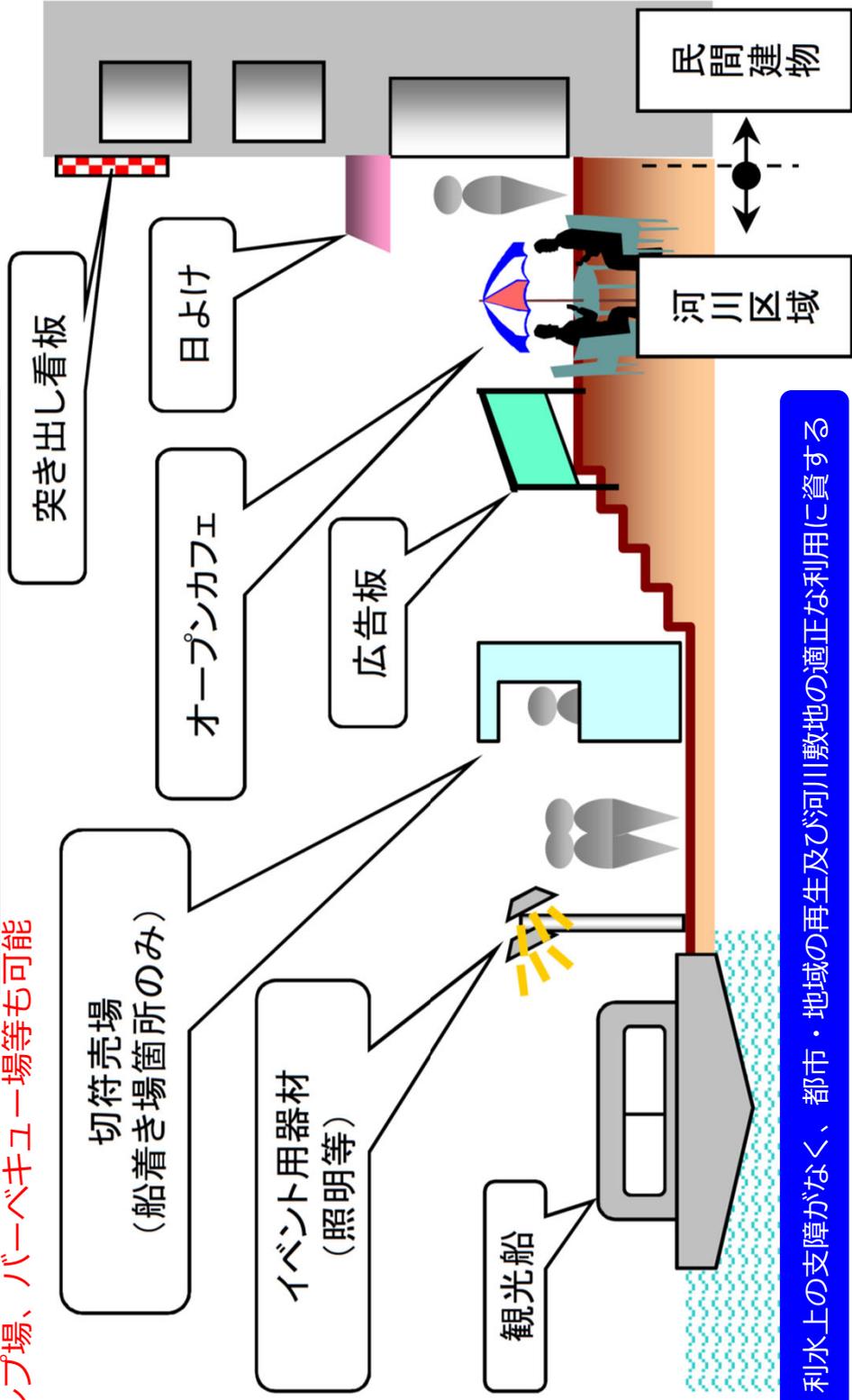
※占有について

河川敷地に施設等を設置し、敷地内を独占して使用することを意味する。占有が認められる施設は、治水上や利水上の支障がなく、他者の河川利用を著しく妨げないものとし、河川周辺の土地利用、景観等を損なわず、かつそれらと調和したものでなければならぬ。また、河川整備計画等の河川の整備、保全又は利用に係る計画が定められている場合は、その計画に沿ったものでなければならぬ。

都市・地域再生等利用区域の制度について①

河川敷地については、原則的に自治体等の公的主体にのみ許可され営業活動を行うことができないが、平成23年の河川敷地占用許可準則の改正により、多様な主体による賑わいのある水辺空間の創出に資するため、特例として地域の合意が得られた場合に、占用主体及び占用施設を緩和してオープンカフェ、売店等の営業活動を行う事業者等（民間事業者等）についても占用を許可することが可能となった。これにより、水辺のオープンカフェや川床、イベント広場等による多様な利活用が推進されている。

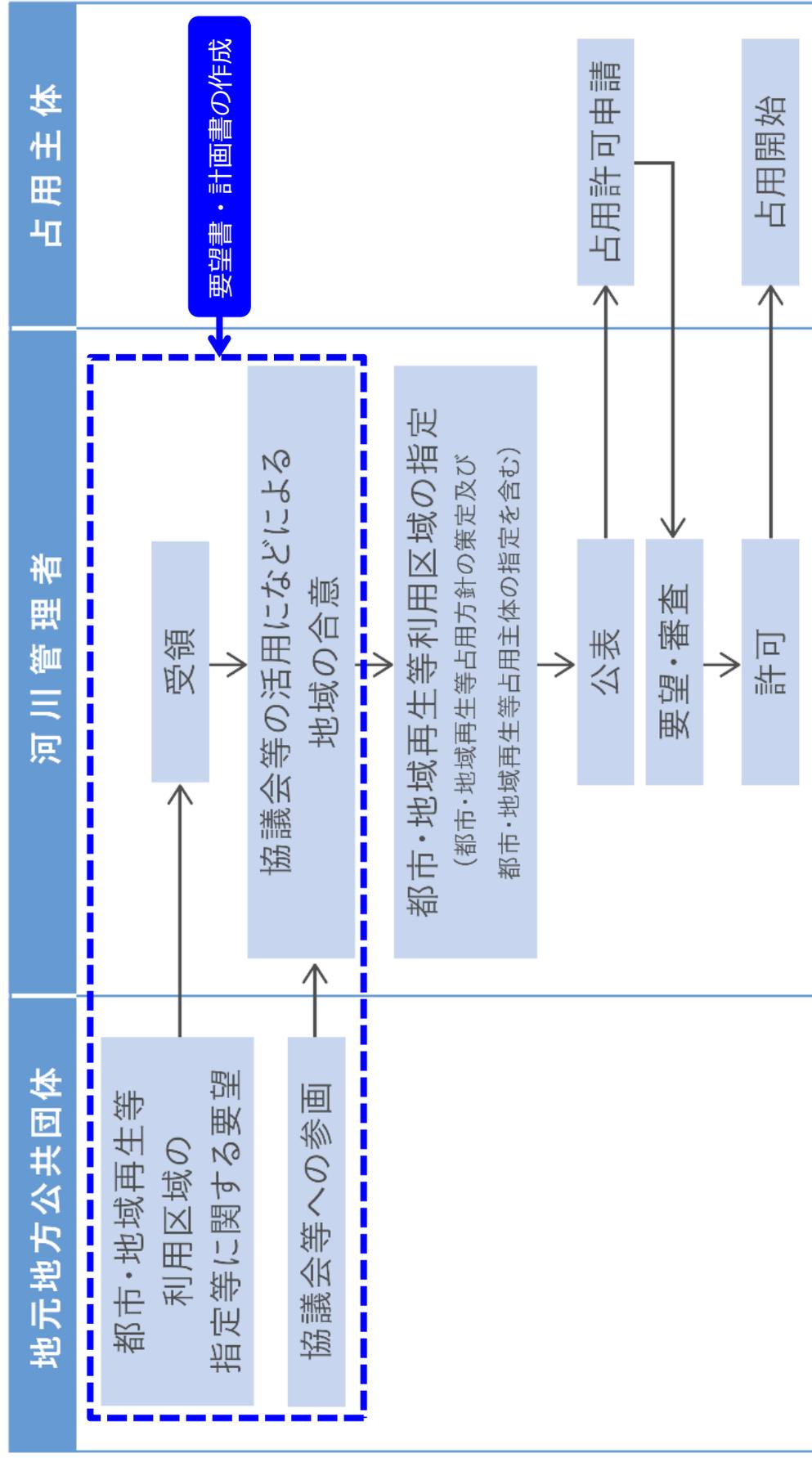
広場、キャンプ場、バーベキュー場等も可能



治水・利水上の支障がなく、都市・地域の再生及び河川敷地の適正な利用に資する

都市・地域再生等利用区域の制度について②

事業者等による河川敷地の利用にあたっては、河川管理者が「都市・地域再生等利用区域」を指定することになっている。
平成28年の河川敷地占用許可準則の改正により、民間事業者等への占用許可期間を「3年以内」から「10年以内」に延長している。



都市・地域再生等利用区域の事例（豊平川）

区域名称	豊平川ウォーターガーデン
概要	札幌市の公園緑地「豊平川ウォーターガーデン」を中心として、自然とのふれあいの場や子育ての場としての機能充実と利活用促進を図るため、環境教育等のイベント開催、飲食物の販売等を実施する。
河川管理者	北海道開発局長
水系名・河川名	1級・石狩川水系・豊平川
指定範囲	札幌市中央区南26条西7丁目395-9～ 南区南30条西8丁目510-1地先
指定日	R2.1.2.7
占用主体	札幌市長
占用施設	広場、イベント施設、遊歩道その他都市及び地域の再生等のために利用する施設（公園緑地）、これらと一体をなす飲食店・売店・オープンカフェ・照明音響施設・日よけ等
合意方法	豊平川利活用協議会
許可期間	10年
関連URL	北海道開発局HP https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ky/kengyou/ud49g7000000081ty.html

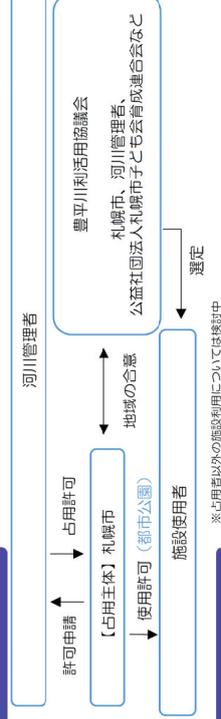
位置



水辺の様子



事業スキーム



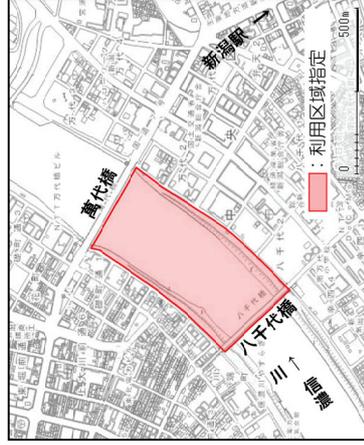
効果と今後の展開

- ・「豊平川ウォーターガーデン」には、遊水路や遊具が設置され、夏には多くの家族連れが訪れる。
- ・環境教育イベントの開催や民間事業者による飲食物等の販売、休憩施設等の利便施設の充実により、レクリエーション・レジャー空間としての利用促進を図る。

都市・地域再生等利用区域の事例（信濃川）

区域名称	信濃川やすらぎ堤
概要	新潟市中心市街地を流れる信濃川のやすらぎ堤（緩やかな法面勾配（5割）の堤防）や萬代橋は、新潟市のシンボルである。その素情らしいロケーションを活かしたイベントの実施や飲食店の出店等により、賑わいと憩いの場が創出され、河川区域を含む萬代橋周辺地区の一層の活性化と新潟市の魅力・活力の向上が図られる。
河川管理者	北陸地方整備局長
水系名・河川名	1級・信濃川水系・信濃川
指定範囲	萬代橋～八千代橋間の信濃川左右岸及び水面
指定日	H28.2.25
占用主体	新潟市長
占用施設	広場、イベント施設、遊歩道、船着場、船着場、前述に掲げる施設と一体をなす飲食店、売店、オープンカフェ、広告板、広告柱、照明、音響施設、切符売場、案内所、船上食事施設、等
合意方法	信濃川やすらぎ堤利用調整協議会
許可期間	3年
関連URL	北陸地方整備局HP http://www.brr.mlit.go.jp/river/toshitokisaisei_shitei/yasuragitei/index.html

位置



水辺の様子

新潟中心部の憩いの場となっているやすらぎ堤



やすらぎ堤の出店状況

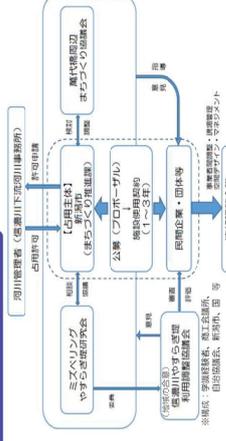


民間事業者によるミズベへの創出



イベント
実施状況

事業スキーム



効果と今後の展開

- ・ 占用主体である新潟市が公募により選定した民間事業者等と使用契約を結び、オープンカフェや売店等の店舗営業やイベントを開催している。
- ・ これにより、人々の関心や動きがやすらぎ堤周辺に集まるようになり、“ミズベ”から“まちなか”へと賑わいの拡がりに期待が高まっている。
- ・ 今後、より民間事業者が主体性を発揮できる体制を構築し、さらなる賑わいの創出を目指している。

利用者数

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度				
店舗数	11	14	12	7				
	右岸：9 左岸：2	右岸：13 左岸：1	右岸：11 左岸：1	右岸：6 左岸：1				
利用者数	H28推計		H29推計		H30推計		R1推計	
	7月	12,000人	13,000人	16,500人	17,100人			
	8月	10,000人	12,600人	12,300人	14,100人			
	9月	8,000人	8,700人	5,000人	9,100人			
	10月	—	—	1,500人	—			
計	30,000人	34,300人	35,300人	40,300人				